

令和3年度

施政方針

本市の魅力を発信し、「チャレンジするなら池田で」と思えるまちへ

問SDGs政策企画課 ☎754・6213

令和3年度の主要施策

にぎわいと活力あふれるまち

◆駅周辺を中心とした市街地の整備

〈池田駅周辺〉

エリア価値向上とまちなかウォークアブルの推進にあたり、官民で一体となって未来ビジョンを検討し、多くの関係者と連携しながら、持続的なまちづくりをめざします。また、共同利用施設池田会館の跡地には、共同利用施設池田会館、栄本町のコミュニティセンター、公益活動促進センターなどの機能を集約し、市民活動・地域交流の拠点となる「(仮称)池田地域交流センター」を整備します。

〈石橋阪大前駅周辺〉

図書館の機能をはじめとして、男女共生サロン、国際交流センターの機能を統合した多文化共生施設や、子育て親子の交流などを推進する地域子育て支援拠点を集約する「(仮称)石橋地域拠点施設」を整備します。

◆道路網の整備

市民の道路に対する関心を高め、愛着を深めるために、市内の主要な道路に愛称を定め、道路環境整備を進めます。また、せせらぎモールの改修に向けた検討も実施します。

◆商業の活性化

インスタントラーメン発祥の地ならではの創作料理や池田ブランド品など、本市にしかない地域ブランドの広報活動を行うことで付加価値を高め、地域内における消費の促進および経済活力の向上を図り、中心市街地のさらなる発展やにぎわいの創出に努めます。

◆観光の振興

新型コロナウイルスの感染拡大下における新たな観光スタイルへの転換として、観光協会と一層連携し、少人数やオンラインでも楽しめるコンテンツの充実を図ります。

人、環境にやさしい 安全・安心なまち

◆災害に強いまちづくり

国の防災対策の変更や、大阪府管理河川の洪水浸水想定区域図の改訂に伴い、本市のハザードマップを改訂し、全戸配布するとともに、英語版のハザードマップも作成し、災害時に一人でも多くの命を守るべく努めます。

◆安心して快適に 移動できるまちづくり

既存交通の利用促進や先端技術を活用したデマンド交通の導入などによる移動サービスのさらなる充実に向けて、地域公共交通会議で意見を頂戴しながら、地域公共交通計



「(仮称)石橋地域拠点施設」完成予想図。
実際と異なる場合があります。

画の策定を進めます。

〈自転車活用施策〉

シェアサイクルの普及促進などを図り、本市の実情に応じた自転車活用推進計画を策定します。



市民文化会館前のシェアサイクルラック

◆環境にやさしいまちづくり

従来は燃えるごみとして収集していたレジ袋およびペットボトルのキャップ・ラベルをトレイ類に加えて分別収集するほか、老朽化したごみ収集車両を更新することで、継続的な業務実施を図ります。

◆良好な自然環境を 生かしたまちづくり

環境・景観などに配慮した公園緑地の整備や、公共公益施設の緑化を推進するため、グリーンインフラ推進計画を策定し、自然環境が有する多様な機能を活用し、官民連携のもと他分野を横断する課題を



リニューアルした観光案内所

解決しながら、計画的な事業実施を図ります。

〈都市計画公園〉

池田駅南側に、新たに防災機能を兼ね備えた市民の憩い・交流の場として、満寿美公園を整備します。

〈五月山体育館〉

ESCO(エスコ)事業により老朽化した施設の更新や修繕を進めるとともに、緊急性の高い屋根の防水改修などについて、長寿命化計画に沿って効果的かつ効果的に事業を進めます。

るとともに、リモートワークの普及でワーケーションなどの新しい観光の楽しみ方が拡大している状況を生かし、宿泊につながるソフト面の整備も進めます。

みんなが健康でいきいきと暮らせるまち

◆高齢者福祉・介護の充実

〈新たな敬老会館を含む「敬老の里」一帯の整備〉

最適な事業手法などの計画・協議を進めます。

〈介護予防〉

「ふくまる元気アップ教室」などの教室や講座に加え、地域とつながりの少ない高齢者の社会参加を促す介護予防のイベントやプログラムを新たに実施します。また、住民主体による「通いの場」での取り組みが推進されるよう、支援します。



ふくまる元気アップ教室の様子

◆障がい者福祉などの充実

在宅の重度障がい者を対象として、タクシー料金の一部を助成することで、日常生活の利便

性を向上させるとともに社会参加を促進するほか、くすのき学園内の入浴設備を利用した入浴サービスを実施し、家族などの介護負担の軽減を図ります。また、雇用施策と連携し、就業中や通勤中の支援を行うことで、就労の機会を拡大し、社会参加を促進します。

◆少子化への対応と子育て支援

〈地域における

子育て支援の推進〉

北豊島地域に新たな拠点を6月より開設し、機能の充実を図るとともに、保護者の不安感などの緩和や、子どもの健やかな育ちの支援を強化します。

〈子ども医療費助成〉

18歳までの子どもを対象に医療費助成を行い、子育て世代の医療費負担の軽減と、子どもの健全な育成に努めるとともに、昨年度に実施したタウンミーティングにおける要望を踏まえ、子ども医療証をカードサイズ化し、保護者の利便性の向上に努めます。

〈保育事業の充実〉

保育所などにおける新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた対策を推進するため、引き続き、私立保育所などに対策経費の補助を実施します。あわせて、障がい児の保育需要の増加に対応するため、私立保育所などにおける加配保育士の人件費への補助を強化し、各施設の保育士確保を支援することで、市全体での特別支援保育体制の拡充をめざします。

◆保健衛生の充実

〈新型コロナウイルスのワクチン接種〉

市民が適切な期間・場所・環境で接種できるよう、努めます。

〈各種がん検診〉

個別受診勧奨によって検診の受診を促進し、がんの早期発見につなげます。

〈妊婦健診〉

妊婦が妊娠期の健康管理において、必要な健診をもれなく受けることができるよう、より一層の経済的な負担軽減を図ります。

行財政改革を推進し希望の持てるまち

◆開かれた市政の推進

SNSをはじめとするさまざまな媒体を活用した情報発信を行うとともに、WEBサービスを活用して、広報誌や緊急または重要な市の発行物を、多言語で発信します。

〈シティプロモーションの推進〉

シティプロモーションの根幹となる基本方針の策定に取り組みます。

◆情報通信技術の活用

ペーパーレスシステムを導入し、ペーパーレス化を推進することで、業務の効率化や印刷に係る経費の削減を図ります。

みんなでつくる分権で躍進するまち

◆地域分権制度

「池田市地域分権検討会議」を開催し、平成28年度の答申に基づき施策を検証するとともに、今後の地域分権制度のあり方について検討します。また、地域住民と協力して各地域の将来像を描き、まちづくりの具体的な方向性を示す「地域ビジョン」の策定に取り組めます。

◆公益活動の促進

公益活動団体の支援を行うとともに、活動主体を公益活動団体と市に限らず、地域組織や企業などを含めた多様な主体が協働・連携して地域課題に取り組む仕組みづくりを検討します。



みんなで育てる花いっぱいプロジェクト

豊かな心を育む教育と文化のまち

◆学校教育の充実

学校におけるICT環境を整備し、ICTを効果的に活用した教育活動の推進を図ります。特に、文部科学省が掲げるGIGAスクール構想のもと、高速無線LANおよび全児童生徒1人1台のタブレット端末環境を適切に運用し、効果的に活用すること
で、全ての児童生徒に質の高い学びを実現します。



タブレットを使用した授業の様子

〈学校施設〉

近年の猛暑を考慮して、屋内運動場においても空調機器を順次整備し、教育環境の改善に努めます。

◆国際交流と地域交流の推進

本市においても増加する外国人市民の生活をサポートするため、引き続き、日本語教室や相談事業を実施し、外国人をはじめとしたさまざまな市民が個性を生かし、地域で安心して暮らせるダイバーシティのまちづくりを進めます。

— Challenge for The Future —

私たちは絶えず挑み続けます。それは、デジタル化による暮らしの負担の軽減です。それは、SDGsに基づいた持続可能なまちの発展です。それは、国土強靱化地域計画に基づいたリスクへの対処です。新たな池田への変革の中で付加価値を向上させ、成長の果実を広めることで、誰一人取り残されることのない、包摂的な生活の豊かさを実感できる、持続的な池田の未来を構築してまいります。

令和3年3月1日
池田市長 富田裕樹